

ぎかいの杜

CONTENTS

3月定例会の審議P2～3
常任委員会審査報告P4～5
所管事務調査報告P5
一般質問P6～10
請願・陳情P11
議会人事のお知らせP12
議会の動きP12

NO.86 令和7年5月1日号

3月定例会などの内容をお伝えします。



「選挙の春」

16年ぶりの知事交代・12年ぶりの市長選

3月定例会最終日の様子は
こちらのQRコードから
ご覧いただけます。



起立採決（議案第16号 令和7年度北秋田市一般会計予算）

令和7年度一般会計当初予算は 241億3659万7000円

主な令和7年度予算	予算額
路線バスフリーパス助成金	7,085千円
大館能代空港利用促進事業補助金	63,360千円
高齢者等日常生活支援事業	7,000千円
きたあきた子育てクーポン事業	11,100千円
保健センター改修事業	88,428千円
带状疱疹予防接種事業	9,830千円
きたあきた出産まるっと応援事業	13,658千円
有害鳥獣駆除事業	28,169千円
北秋田市観光物産協会支援事業	15,450千円
阿仁分署建設事業	68,152千円
鷹巣中学校体育館改築事業	26,466千円
I C T学習環境整備事業	37,268千円
文化会館外壁等改修事業	148,600千円

令和7年 3月定例会

令和7年北秋田市議会3月定例会は、2月18日から3月4日までの15日間の会期で行われました。

今定例会では、条例案10件、補正予算案5件、当初予算案19件、単行議案6件、報告1件のほか、最終日には、一般会計補正予算や人事案件の追加提案、議員発議による条例案などが提案され、いずれも原案のとおり可決及び同意しました。

また、陳情4件については、1件を継続審査、1件を趣旨採択、2件を不採択としました。

3月定例会の主な議事

- 北秋田市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 北秋田市公共施設解体基金条例の制定について
- 北秋田市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 北秋田市体育館条例の一部を改正する条例の制定について
- 令和6年度一般会計補正予算
- 令和6年度各特別会計補正予算
- 令和6年度病院事業会計補正予算
- 令和7年度一般会計予算
- 令和7年度各特別会計予算
- 令和7年度各事業会計予算
- 工事請負契約の締結について（旧阿仁中学校舎解体工事）
- 北秋田郡上小阿仁村と北秋田市との間における消防事務の委託に関する協議について
- 北秋田市民プールの指定管理者の指定について
- 北秋田市選挙管理委員会及び同補充員の選挙について
- 人権擁護委員候補者の推薦について
- 厚生年金への地方議会議員の加入に関する意見書の提出について

賛否が分かれた議案等の表決状況

○：賛成 ●：反対 ▼：欠席もしくは退席 除：除斥

議案名 所属会派・議員氏名	採決結果	清明会						新創会				日本共産党議員団			公明党	無党派	
		小笠原 寿	永井 昌孝	佐々木正史	松橋 久敏	堀部 壽	中嶋 洋子	長崎 克彦	佐藤 文信	杉淵 一弘	五代儀義富	佐藤 重光	板垣 淳	三浦 倫美	久留嶋 範子	福田 牧子	福岡 由巳
※議長は採決には加わりません。																	
議案第16号 令和7年度北秋田市一般会計予算	可決	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	●
議案第32号 令和7年度北秋田市病院事業会計予算	可決	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	●
陳情第38号 地方自治を無視する国に沖縄との対話を求める意見書の提出に関する陳情	不採択	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	●
陳情第40号 「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」採択に関する陳情書	継続審査	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	●
陳情第41号 「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	趣旨採択	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
発議案第2号 厚生年金への地方議会議員の加入に関する意見書の提出について	可決	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	●

賛成・反対討論

▼議案第16号

反対討論 板垣 淳 議員

財政調整基金Ⅱ貯金が過去最高の約73億円になり、県内で突出している。人口減少、地域疲弊、物価高騰なのだから、市民の暮らしのために有効に使うべき。学校給食費の値上げも認められない。

賛成討論 杉淵 一弘 議員

令和6年度の歳入・歳出を基に計画されており、新規事業として、子ども家庭センター関連及び学習環境整備事業、鷹巣中学校第一体育館改築事業設計委託など、切れ目のない支援となっている。

反対討論 福岡由巳 議員

一つは、観光関係施設指定管理料の極端な増額について。管理料わずか100万円で黒字経営の宿泊施設を休館にする一方、負債を抱える施設に多額の管理料をつぎ込むのは制度を逸脱し、認められない。

賛成討論 五代儀義富 議員

本予算案は経済展望の難しい現状での骨格予算としては相応に対策を施したものと受け止めることができる。また、病院会計予算は償還や指定管理料を除き、政策的医業費の2億4千万円を議論の対象とすべき。

▼議案第32号

反対討論 久留嶋 範子 議員

4月から分娩取扱いが中止になり若い人からは不安の声が上っている。病床縮小で患者流出も懸念される。一番の理由は常勤医師の確保。病院への負担

金8億7千万円の削減など努力が必要。

反対討論 福岡由巳 議員

最近の分娩廃止や病床数削減で医療環境の後退は否めない。外来患者の圏域外流出抑制等にはまず常勤医師の大幅増員であるが、これが進まない中で3年連続して8億円を超える繰入金金は多すぎる。

▼陳情第38号（不採択に対して）

反対討論 板垣 淳 議員

原案に一部賛成。辺野古新基地建設を沖縄県民が反対しているのに、我々が「そこに造れ」というのは傲慢。「イージス・アショアを秋田に造れ」と他県の人に言われたら嫌なのと同じ。

賛成討論 杉淵 一弘 議員

これまでの経過より、移設での節目の年度は、平成25年当時の知事が辺野古への移設を承認。その後、反対派の知事となり、平成27年に法廷闘争。令和5年に福岡高裁で承認を認めており、陳情事項に反対する。

反対討論 福岡由巳 議員

地方自治法は「国と地方は対等」となっている。この原則からすれば、辺野古移設問題は国の一方的な代執行は許されず、国と県とが相互理解に向けて対話を重ね抜本的解決を図るべきであり、陳情に賛成。

▼陳情第40号（継続審査に対して）

反対討論 久留嶋 範子 議員

世界で夫婦同姓を法律で義務付けている国は日本だけ。世論調査でも導入を望む声が多数。経団連も制度を早期に実現すべきと政府に提言している。継続審査でなく、早期に法制化すべきである。

賛成討論 福田牧子 議員

個人の法の下の平等、特に女性のアイデンティティの面から推進されるべきものと考えているが、家族制度が崩壊するのではないかとの危惧や生まれる子の氏の課題等から、継続審査が必要であると考えている。

反対討論 福岡由巳 議員

婚姻の際、姓をどちらかに変えなければならぬのは日本の制度で民法第750条が根拠。この法は、憲法第24条、第13条、第14条第1項に反するとして国会での議論を促しているもので即刻採択すべき。

▼陳情第41号（趣旨採択に対して）

反対討論 福岡由巳 議員

「最低賃金1500円では中小企業経営の負担が大きい」と議論されたが、非正規労働者が37%に及び低賃金を強いられている。陳情はそれを解決すべく中小企業支援拡充を国に求めるもので採択すべき。

▼発議案第2号

反対討論 三浦倫美 議員

優先すべきは国民年金受給額を生活できる額に増やしていく対策であり、現状その支援策がない中で、地方議員が公費を支えに厚生年金に加入することは国民の理解を得られないのではないか。

反対討論 福岡由巳 議員

厚生年金制度化により議員のなり手が増えるということであるが、果たしてそうか。重要なのは、住民と密接に結びついた議会活動により、信頼が厚くなり議員のなり手に繋がると考え、受け入れられない。

※討論は、付託された各常任委員長の報告に対して「賛成」または「反対」で行われています。例として、委員長の報告が「可決」であった場合は、「可決」に対して賛成か反対が討論します。なお、発議案は議員提出議案のため、原案に対して討論が行われています。

総務文教常任委員会

鷹巣中学校体育館 改築の予定は

[委員長]小笠原 寿 [副委員長]五代儀義富 [委員]杉渕一弘／堀部 壽／板垣 淳／長崎克彦

当委員会に付託された案件は、条例案5件、予算案11件、単行議案3件、陳情2件の計21件でした。

北秋田市公共施設解体基金条例の制定について、委員から「令和6年度に5億円を積み立てる予定だが、次年度以降の積立予定額はいくらか」との質疑があり、当局からは「財政状況を見ながら決定していく」との答弁がありました。

令和6年度一般会計補正予算の財務部財政課の審査の中で、委員から「令和6年度末の財政調整基金残高73億5千万円は過去最高額か」との質疑があり、当局からは「これまでの最高額であった令和5年度より多い金額である」との答弁がありました。この答弁に対し、委員から「大綱質疑の中で、大きな予算が必要となる事業を控えているとの答弁であったが、どのような内容か」との質疑があり、当局

からは「解体事業が見込まれている」との答弁がありました。

令和7年度一般会計予算の教育委員会の審査の中で、委員から「鷹巣中学校体育館の改築について、規模と今後の予定は」との質疑があり、当局からは「規模的には1,500平米程度を見込んでいます。予定では現在の体育館を使用しながら敷地内に新しい体育館を建設する予定である」との答弁がありました。

採決では、令和7年度一般会計予算で反対の立場から「財政調整基金の残高が過去最高を更新した。市民の暮らしを守ることに有効活用すべき」との討論があり、採決の結果、賛成多数で可決となり、そのほかの議案は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。また、陳情2件は賛成少数で不採択とすべきものと決しました。

(委員長 小笠原 寿)

市民福祉常任委員会

外国人観光客増加 救急と病院の対応

[委員長]永井昌孝 [副委員長]福田牧子 [委員]久留嶋範子／中嶋洋子／佐藤文信

当委員会に付託された案件は、条例案3件、予算案13件、単行議案1件、陳情1件の計18件でした。

令和6年度一般会計補正予算所管分の高齢福祉課関係では、委員から「高齢者等日常生活支援事業補助金について、非課税世帯が対象だが、今後、高齢者が利用しやすいよう補助の対象を広げる考えはないか」との質疑があり、当局からは「事業は低所得者に向けて実施するもので、来年度も同様に非課税世帯を対象としてい」との答弁がありました。

令和7年度一般会計補正予算所管分の消防本部関係では、委員から「マルチリンガルサポート委託はどのようなものか」との質疑があり、当局からは「外国人から119番通報があった際に、3者通話で言語を日本語に訳す方を委託するもの。継続事業だが実際

の通報はまだない」との答弁がありました。

また、こども課関係では、委員から「児童クラブの防犯カメラ設置委託について、全ての児童クラブに設置するか」との質疑があり、当局からは「現在、どの児童クラブにも防犯カメラはついておらず、児童のけがなどがあった時の状況確認のためや現場の安全面にも配慮し、全ての児童クラブに設置する予定である」との答弁がありました。

以上のような審査を踏まえ、令和7年度一般会計予算及び令和7年度病院事業会計予算は賛成多数で可決し、陳情第40号「選択的夫婦別姓制度の導入」については継続審査、そのほかの議案については全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

(委員長 永井昌孝)

産業建設常任委員会

「マタギの湯」経営の展望は

【委員長】松橋久敏 【副委員長】福岡由巳 【委員】三浦倫美／佐々木正史／佐藤重光

当委員会に付託された案件は、条例案2件、予算案4件、単行議案2件、陳情1件の計9件でした。

北秋田市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について、委員から「新設の明田団地の場所はハザードマップで洪水区域に入っているが、対策は」との質疑があり、当局からは「ハザードマップでは水深を一律で表記しているが、国土交通省がホームページで公開している浸水想定では、団地の一番低いところで79センチの浸水であり、盛土と建物の基礎を上げることで対策ができる」との答弁がありました。

令和7年度一般会計予算の産業部産業政策課の審査では、保育園留学運営委託費について、委員から「留学する人が増える見込みでの増額か」との質疑があり、当局からは「保育園留学の全国的な高まりの一方で、留学されるご家族の横柄な態度が目立つ事例があり、対策として、パートナー企業による事前面談の仕組みづくりを設ける経費分の増額である」との答弁がありました。

観光文化スポーツ部観光課の審査では、打当温泉マタギの湯の指定管理料について、委員から「観光関係では一番高い指定管理料である。どうすれば黒字になるのか、その展望の説明がないと理解できない」との質疑があり、当局からは「経営改善計画の内容を精査し、地域とのコミュニケーションを図りながら新しい経営の仕方を模索中である」との答弁がありました。

以上のような審査を踏まえ、採決では、令和7年度一般会計予算について可否同数となり、委員長裁決により可決。そのほかの陳情以外の案件については全会一致で原案のとおり可決し、陳情は賛成多数で趣旨採択すべきものと決しました。

（委員長 松橋久敏）

閉会中の所管事務調査報告（抜粋）

総務文教常任委員会

1月23日に「学校給食施設について」調査を実施しました。

昨年10月と12月に鷹巣中学校で起きた「異物混入」を受けて、施設の管理状況や万一発生した場合の対応について確認しました。異物を発見した際には直ちに学校長と給食センターに報告され、状況を確認し保管する。また、食べてしまった場合には学校医と保護者に連絡を取り、必要に応じて病院対応とした上で、市や議会、マスコミに公表されるとのことでした。

委員から「アレルギーのある生徒の調理」について質問があり、「アレルギー食調理室」があって万全であるとの説明がなされました。

（文責者：副委員長 五代儀義富）

市民福祉常任委員会

1月28日に「北秋田市民病院の運営について」調査を実施しました。

外来・入院患者ともに減少してきている。「令和7年4月より、現在の4病棟から3病棟に再編。看護スタッフを効率的に配置し、サービスの向上を図るとともに処遇改善や働き方改革になる。入院受入能力に変更はない。」との説明がありました。

委員から「患者さんに対する医師の接遇研修が必要ではないか」との質疑に対して「毎年、病院全体の接遇改善の情報共有、研修が実施されてきた。医師に対しても厚生連として指導を行った」との説明がありました。

（文責者：副委員長 福田牧子）

産業建設常任委員会

1月31日に「北秋田市農林漁業体験実習館」、「森吉山阿仁スキー場」について調査を実施しました。

体験実習館は、平成3年建設、食堂業務を担当する人がいなくなり同21年度休館。体験実習館としては目的が達成されたかと思うが、別の活用方法については解体も含めて研究してどうするか議論が必要との説明がありました。

森吉山阿仁スキー場は、駅舎は見えない部分がかかなり傷んでいるが、今のところ補強すれば何とか使えるという見立てであるので、今後については診断の中でどうするか検討していきたいとの説明がありました。

（文責者：副委員長 福岡由巳）

活かそう市民の声

市政を問う！ 一般質問

一般質問は、2月20日・21日の2日間で行われ、7人の議員が登壇しました。

三浦 倫美 議員（P 7）

- ◆オーガニック給食と有機農業産地づくりについて
- ◆秋田県冬期防災訓練と弾道ミサイルを想定した住民避難訓練について

久留嶋 範子 議員（P 7）

- ◆物価高騰対策について
- ◆市民の声を市政に反映させるために
- ◆自治会等の補助金制度について
- ◆小中学校の給食費について

永井 昌孝 議員（P 8）

- ◆スポーツ振興について
- ◆学校予算について

福岡 由巳 議員（P 8）

- ◆森吉山の国立・国定公園の選択について
- ◆森吉山荘の改修計画と管理運営体制の変更に係る事業再開について

板垣 淳 議員（P 9）

- ◆マイナンバーカードとマイナ保険証について

杉渕 一弘 議員（P 9）

- ◆農業生産振興について
- ◆廃校施設の利用について
- ◆子供・子育て支援事業について

福田 牧子 議員（P 10）

- ◆防災・減災について
- ◆熱中症対策について

※各質問者のQRコードから一般質問の映像がご覧いただけます

三浦 倫美 議員

(日本共産党議員団)



オーガニック給食の
展望と課題は

国では環境保全を重視していく方向で、県も環境保全型の推進を図っていく。市も環境保全型を大切だと捉えており、その中でも一歩進んだ有機農業も有効な選択肢の一つであり、アンテナを高くして国の動向や全国各地の取組に注視していく。有機農業のみならず農家さんからのご相談等は農林課が窓口となり、県や農協等とも連携し対応していく。

Q 千葉県いすみ市では、有機農業者ゼロだったところから取り組み、民間稲作研究所、県普及指導員、JA、市が連携。学校給食の全量42トンの有機米を提供。有機野菜も給食センターの現体制を変えずに無理なくできる品目から提供。成果として、残食の減少、イメージアップと認知度向上、移住者の増加、農産物のブランド化、農業所得向上、新規就農希望者の増加など先進事例があるが、市の考えは。

A 2月10日、市内3か所で開催されたJA主催の営農座談会で、有機農業について情報交換を行った。2月28日には、県で水稻有機栽培研修会の予定があり、農家の方々にも参加を呼びかけ、市担当係長、担当職員が出席し研修を受ける予定。



有機農業産地づくりを

教育委員会としても、給食はできるだけ地場産の活用を進めたい。

Q 国民保護法による弾道ミサイルを想定した住民避難訓練は、住民の不安をあまり緊張を高めなにか。住民の不安や誤解を招く可能性を考慮し事前に丁寧に説明した。

久留嶋 範子 議員

(日本共産党議員団)



物価高騰対策へ
市独自の財源投入を

関係者との協議を行い、7日から10日ほどで書面で回答、市のホームページでも公表している。

Q 環境整備事業補助金を自治会などが使いやすい制度に改正すべきでは。

A 世帯数が少ない小規模な自治会も有効に補助金を活用できるように、交付要綱の見直しを検討している。

Q 小中学校の給食費無償化を。今や国の政策として論議されている。現在、4割以上の自治体が給食費無償化を実施しており、東京都23区では2024年4月から無償化となった。県内でも半数を超えている。市長の決断を。

A 本年度の値上げ相当分について、国の交付金を活用して補助を行う。次年度以降は県と協調し、無償化について前向きに検討している。

Q 物価高騰による影響から、市民の暮らし、雇用と営業を守るため、国の重点支援地方交付金の積極的活用と、市独自の財源も投入すべき。

A 3月定例会最終日に、プレミアム付応援チケット事業や医療・福祉・保育施設等への光熱水費等支援事業など、国の交付限度額を大きく上回る総事業費約3億5千万円規模の補正予算案を追加提案する予定。

Q 「市民の声ポスト」が昨年5月から総合窓口案内に設置されたが、対応は。意見・要望は何件で、主な内容は。

A これまで寄せられた意見・要望は、1月末時点で6件。主な内容は湯の岱温泉の運営に関する要望で、回答は所管部署が現地確認や



市民の声ポストは庁舎入口に設置

永井 昌孝 議員

(清明会)

スポーツ振興と
学校予算について

Q スキー大会の参加者が減少。ウィンタースポーツの魅力向上や大会参加者増加の対策は。

A 小中学生向け無料招待券の配布、初心者向け講習会を実施。スキー場の利用促進策を検討。

Q スキー初心者向け指導支援、用具購入負担の軽減策はあるか。

A 各学校でスキー授業を実施。地域の協力を得て指導。スキー用具の貸し出しやリユースを推進。

Q 市内スキー場の運営状況と今後の維持、活用計画は。

A 阿仁スキー場はインバウンド実績が過去最高見込み。更新計画を基に、建物及び索道の修繕、更新について優先順位をつけながら対応する。

Q スケートボードができる施設

や環境整備の計画は。

A 防災関連施設の活用や公園施設への併設なども含めて検討。

Q スケートボードを活用した観光誘致、大会誘致の可能性は。

A 他自治体の取組を参考に、関係者と意見交換を重ねながら検討。

Q 学校の燃料費や消耗品費の高騰に対する市の支援策は。

A 物価上昇を見越して予算を確保。増額分は補正予算で対応。ICT導入による経費削減策を実施。

Q 小中学校の雨漏りや老朽化への対応は。

A 状況を把握し、優先順位をつけて予算化し対応を進める。

Q ふるさと納税を教育支援に活用する予定は。

A 教育支援の項目追加を総合政策課と協議し検討。



市民スキー大会（薬師山スキー場）

福岡 由巳 議員

(無会派)

「資質調査待ち」
では遅れる

Q 森吉山の十和田八幡平国立公園への編入は、拡張地域とその地種区分の格上げや編入の合意形成が3県18市町村に及ぶため、2030年度に調査を終えることは困難視されている。また、環境省は、森吉山が奥羽山脈の脊稜線から離れているため、十和田八幡平地区から地理的連続性や利用の一体性に欠けていることや、独立性や独自性を有していることは承知しているとし、国定公園の新規指定も視野に入れているとのことである。

「森吉山の価値と未来を考える会（以下、「考える会）」は森吉山の公園名を残すため、まずは国定公園の新規指定を経て、その先に単独の森吉山国立公園を目指す方針を表明しているが、環境省はこの提

案に対して、拡張地域の全てを規制の緩やかな普通地域指定であれば、森吉山本体の緩衝地域として一体的な景観保全ができ、30 by 30に貢献できるとのことである。

十和田八幡平国立公園編入は多くの課題が横たわっている。市長が繰り返し資質調査待ちという対応では、国定公園の新規指定すら遅れてしまう。「考える会」の提案事項は、環境省の方針を牽引するものであり、市長はこの提案と一緒に環境省に提案していくべきと考えるが、市長の見解を求める。

A 間もなく環境省の調査が終了し、来年度の早い段階で国の方針が示されると伺っている。市としては引き続き環境省や県と連携を図りながら、悲願である昇格の早期実現に向けて取り組んでいく。



国立・国定公園化を待つ森吉山

板垣 淳 議員

(日本共産党議員団)



マイナ保険証に
不安がいつぱい

Q 森吉町議会から通算100回目の一般質問。うれしいこと、残念だったことさまざま思い起こされる。今回はマイナカード、マイナ保険証について市民から寄せられた声をもとに質問する。依然として疑問や不安の声があるが、周知は十分か。

A 100回目の記念すべき質問にしっかりと答える。周知は広報、ホームページ、公式LINEでしてきた。

Q 疑問や不安があるのになぜこんなに急ぐのか。

A デジタル社会の推進は必要だから。
Q マイナ保険証は5年更新なので新年度からその手続きが増える。対応は。

A 期限が切れる3か月前に郵送で

通知する。市役所窓口で更新してもらう。

Q 暗証番号を3回間違えるとロックがかかり使えなくなる。どうすればよいか。

A 市役所窓口で再設定する。

Q 能登半島地震のような停電時にマイナカード、マイナ保険証が使えるか。

A 国で実験中。

Q 3月24日からマイナ運転免許証が発行されるが、今の免許証と併用してもいいし、今の免許証だけでもいい。なのに保険証の場合はマイナ保険証とこれまでの保険証が併用できない。なぜか。

A マイナ免許証は海外で使用できないので併用にしたのでないか。



マイナカード等について市民へもっと周知を

杉淵 一弘 議員

(新創会)



米の価格差による
対応は

Q 「主食用米」と「加工用米及び新規需要米」との価格差についての対応は。

A 北秋田市農業再生協議会では、毎年、米の生産の目安を示しているほか、加工用米や新規需要米に対して、水田活用の直接支払交付金等で支援している。令和7年産米は、加工用米等から主食用米への作付転換が進むとみられ、加工用米等の作付拡大に対する助成上限額を10アール当たり2万5千円に増額した。

Q 当地区の「サキホコレ」の作付は何年からか。

A 3年連続で基準をクリアした地域が作付編入されるが、市内の試験栽培地では、令和4年の豪雨災害でデータが抽出できなかった。今後は令和7年に基準をクリアし、

令和9年から作付可能の見込みである。

Q 「あきたこまちR」を食味ランキングの「特A米」にしては。

A 平成22年以降、「特A米」の生産に至っていないが、あきたこまち40周年記念事業で作成された食味ランクアップマニュアルに基づき、JA等と連携し、営農指導の強化に取り組む。

Q 廃校となった小学校体育館を室内野球練習場へ改装してどうか。

A 他のスポーツ競技団体等からの要望もあることから、耐震補強工事の実施状況を踏まえつつ、関係機関と協議する。

Q 放課後児童クラブへ夏休み等に給食提供をしてはどうか。

A 他自治体の例を参考に、地域事情やコスト面を勘案し検討する。



米5キロ価格、昨年の2倍に!!

福田 牧子 議員
(公明党)



避難所の見直しを 給水スポットを

防災・減災に避難所の環境整備は重要である。生命保護に必要な四つの要素、①「給水、衛生および衛生促進」、②「食料安全保障と栄養」、③「避難所および避難先の居住地」、④「保健医療」の最低基準が人道に則った国際基準に定められている。

Q 「災害用物資・機材等、備蓄状況調査」があったと思うが、見直しはするのか。

A 令和7年中を目標に見直しを検討。

Q 国際基準に照らし、内閣府が作成した避難所ガイドラインに沿った避難所整備の見直しは。

A 地域防災計画や避難所開設・運営マニュアル等について、国際基準の趣旨を踏まえ見直す。

Q 避難所となる学校体育館の耐災

害性と空調整備について文科省が予算化、当市の申請は。

A 断熱性に課題があり申請を見送ったが、要件を再度確認し検討。

Q 避難所の鍵の管理が校長(教頭)になっているが、実態にあっているのか。検討が必要ではないか。暗証番号付きのボックスの設置を提案するが、いかがか。

A 情報を守ることに比べられるか、今後勉強する。

Q 冷水器を公共の場所(学校・体育館・公民館)に設置し、熱中症対策、脱水予防の啓蒙、ペットボトルの減量等に繋がると考えるが、当市で取り組む考えは。

A 設置の可能性について研究する。



2月に行われた秋田県冬季防災訓練の様子

本会議の生中継や録画映像が

スマートフォンやパソコンなどでご覧になれます

スマートフォン・タブレット

QRコード読み取りアプリを起動して
下のQRコードを読み取る



生中継・録画映像
配信先QRコード

画面が切り替わりましたら、再生ボタン
を押してください。

パソコン

(北秋田市ホームページ)



操作① メニューをクリック



操作②
北秋田市議会
をクリック

操作③
市議会中継
をクリック

(議会中継のページへ)



操作④ 再生をクリック
(本会議の生中継や録画映像がご覧になれます)

皆さまからの 請願・陳情と意見書提出

件 名	請 願 ・ 陳 情 者 氏 名	結 果	意見書
地方自治を無視する国に沖縄との対話を求める意見書の提出に関する陳情	沖縄に応募する会@あきた 代表 兵藤 知子	不採択	—
デジタル・ベーシックインカム導入に関する意見書の提出についての陳情書	渡部 道正	不採択	—
「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」採択に関する陳情書	秋田弁護士会 会長 石田 英憲	継続審査	—
「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	秋田県労働組合総連合 議長 高野 智子	※ 趣旨採択	—
	秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 奥井 明子		

※ 趣旨採択・・・採択には至らないものの趣旨には賛同できること。

請 願 ・ 陳 情 の 提 出 方 法

市民の皆さんから議会に要望などを伝える手法として、「請願」や「陳情」の提出があります。

請願は市議会議員の紹介が必要ですが、陳情は必要ありません。

- ・ 請願の趣旨、提出年月日、請願者の住所及び氏名、電話番号を記載し、請願者の押印をして提出してください。
- ・ 請願は1人以上の紹介議員が必要になりますので、紹介議員の署名または記名押印をしてもらい提出してください。
(紹介議員がいない場合は、陳情としての提出となります。)
- ・ 国や県などに意見書の提出を求める場合は、意見書(案)を提出してください。また、意見書の提出先を記載してください。
- ・ 道路や区域に関する内容の場合は、簡単な地図(略図)を添付してください。
- ・ 定例会告示日の3日前(休日除く)までに提出してください。



議 会 を 傍 聴 し て み ま せ ん か ?

市議会では、皆さんの生活に直結した重要な問題を審議しています。開かれた議会を目指し、どなたでも本会議の傍聴が可能となっていますので、市議会の活動状況をぜひご覧くださいようお待ちしております。

次の定例会は「6月」の予定です

市 議 会 へ の ご 意 見 を 募 集 し て い ま す

- 対 象 市内在住又は通勤通学をしている方
- 方 法 手紙、FAX、メールなど(文字で読める形式のもの)
- 公 表 ご意見をホームページや広報紙で公表する場合があります。
- あて先 〒018-3392
北秋田市花園町19番1号
北秋田市議会事務局

- メール gikai@city.kitaakita.akita.jp
- FAX (0186) 62-4845

北秋田市議会

検索

<https://www.city.kitaakita.akita.jp/genre/shigikai>



議会の動き

<1月16日～4月15日>

1月

- 17日・広報広聴特別委員会
- 20日・秋田県北部市議会連絡協議会要望活動
- 23日・総務文教常任委員会所管事務調査
- 28日・市民福祉常任委員会所管事務調査
- 31日・産業建設常任委員会所管事務調査
- ・秋田県市議会議長会定例会
- ・鷹巣建設技能組合新年会

2月

- 1日・第16回北秋田市民スキー大会兼第68回北秋田学童スキー大会
- 5日・議会運営委員会
- 7日・議会運営委員会
- ・令和7年北秋田市上小阿仁村生活環境施設組合議会2月定例会
- 9日・令和6年度秋田県冬期防災訓練及び弾道ミサイルを想定した住民避難訓練
- 14日・秋田県後期高齢者医療広域連合議会2月定例会
- 18日・3月定例会（初日）
- ・広報広聴特別委員会
- 20日・本会議 一般質問①
- 21日・本会議 一般質問②
- ・議会運営委員会
- 25日～26日
- ・総務文教常任委員会
- ・市民福祉常任委員会
- ・産業建設常任委員会

3月

- 1日・北秋田市スポーツ賞表彰式
- 4日・議会運営委員会
- ・3月定例会（最終日）
- 18日・秋田内陸縦貫鉄道北秋田議員連盟研修会
- 21日・大館北鹿建設技能組合連合会総会
- 26日・広報広聴特別委員会
- 31日・広報広聴特別委員会

4月

- 1日・定期人事異動辞令交付式

議会人事のお知らせ

▽議員辞職および委員会構成の変更について

令和7年1月31日、虻川敬議員から辞職願が提出され、地方自治法第126条の規定に基づき、議長が同日付けで辞職を許可しました。

また、議会運営委員および産業建設常任委員長・同委員の辞任願も同日提出され、北秋田市議会委員会条例第13条および第14条の規定に基づき、許可されました。

これに伴い、議会運営委員に五代儀義富議員を選任。産業建設常任委員会では、松橋久敏議員を委員長、福岡由巳議員を副委員長に選任しました。

また、新創会及び佐藤重光議員から所属委員会の変更の申し出があり、市民福祉常任委員会から産業建設常任委員会への変更を認めています。

○議会運営委員 五代儀義富 議員

○産業建設常任委員 松橋 久敏 議員(委員長)

福岡 由巳 議員(副委員長)

佐藤 重光 議員

▽新創会から異動の届出

会派「新創会」の佐藤文信代表から、虻川敬議員が1月31日付で脱会、また、五代儀義富議員が2月1日付で加入する旨の届出がありました。

市議会議員補欠選挙

北秋田市議会議員補欠選挙が3月30日に告示され、欠員2名に対し立候補者2名であったため、木村謙一氏（65歳・阿仁比立内）、松橋史尚氏（50歳・旭町）の両氏が無投票で当選されました。

なお、議員の任期は令和8年3月31日までとなります。



木村謙一議員（無会派）
<市民福祉常任委員会>



松橋史尚議員（新創会）
<産業建設常任委員会>

広報広聴特別委員会

委員長 五代儀義富
委員 福岡由巳
委員 中嶋洋子

副委員長 松橋久敏
委員 久留嶋範子
委員 長崎克彦